

再発非小細胞肺癌(非扁平上皮がん)

N42O

ニボルマブ+イピリムマブ+カルボプラチン+ペメトレキセド併用療法

N42I

※導入療法1コース(導入・維持療法併せて最長24か月)

6週毎

薬剤・略号	商品名	投与量	投与日	
ニボルマブ	オプジーボ	360mg/body	d1、22	q3w
イピリムマブ	ヤーポイ	1mg/kg	d1	q6w
ペメトレキセド / PEM	アリムタ	500mg/m ²	d1、22	
カルボプラチン / CBDCA	カルボプラチン	AUC=5~6	d1、22	

Ccr(Cockcroft-Gault) = 体重(kg) x (140-年齢) / 72 x Cr(mg/dl)

女性は0.85倍

Cr(日本での酵素法ではCr+0.2で計算する方がよい)

CBDCA dose(mg/body) = AUC x (Ccr + 25)

投与7日	メチコパール注(500 μg) 1A im
以上前～	パンビタン末 1g 1日1回内服

Day1	<p>① メコバラミン注(500 μg) 1A im ※</p> <p>② 生理食塩液 100ml / ルートキープ</p> <p>③ アロキシ(0.75mg) 1V + デキサート(6.6mg/2ml) 2V + 生理食塩液 50ml / 15min</p> <p>Y④ ニボルマブ360mg/body + 生食50ml 30分でDiv 0.2または0.22 μmのインラインフィルター付ルートを使用</p> <p>⑤ 生食 100ml / 30分 (フラッシュ用)</p> <p>Y⑥ イピリムマブ()mg/body + 生食20ml 30分でDiv 0.2又は0.22μmのインラインフィルター付ルートを使用 ニボルマブ投与終了後、30分以上あけて、投与を開始すること 生食又は5%糖液を用いて、1~4mg/mlの濃度に希釈すること 1~4mg/ml確保のため、生食50ml→生食20mlにして使用</p> <p>⑦ 生食 100ml / (フラッシュ用)</p> <p>Y⑧ ペメトレキセド()mg/body + 生食100ml/10min</p> <p>⑨ 生食 100ml / 全開フラッシュ</p> <p>Y⑩ カルボプラチン()mg/body + 生食250ml / 60min</p>
------	--

Day22	①	メコバラミン注(500 μ g) 1A im ※
	②	生理食塩液 100ml / ルートキープ
	③	アロキシ(0.75mg) 1V + デキサート(6.6mg/2ml) 2V + 生理食塩液 50ml / 15min
Y	④	ニボルマブ360mg/body + 生食50ml 30分でDiv 0.2または0.22 μ mのインラインフィルター付ルートを使用
	⑤	生食 100ml / 30分 (フラッシュ用)
Y	⑥	ペトレキセド()mg/body + 生食100ml/10min
	⑦	生食 100ml / 全開フラッシュ
Y	⑧	カルボプラチン()mg/body + 生食250ml / 60min

※ 添付文書に記載されているVB12製剤の使用方法は、「初回投与少なくとも7日前に1mgを投与し、その後9週(3コース)毎に投与終了後22日目まで投与」となっているが、投与忘れがないよう、当院ではメトレキセド(アリムタ)投与ごとにVB12 500 μ gをレジメンに登録している。